

各理事の皆様へ
熊谷事務局次長殿

吉田

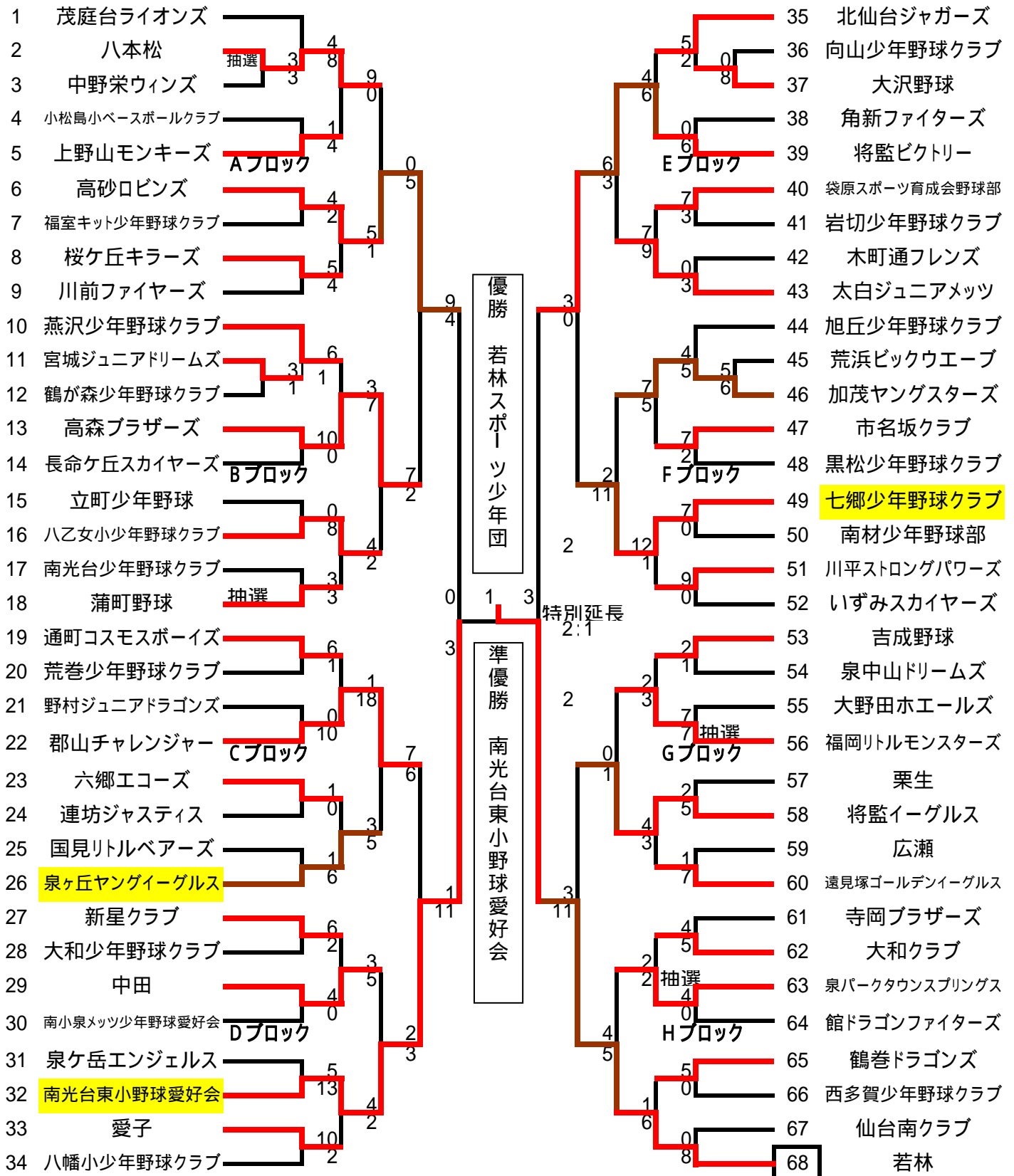
無事新人大会は終了いたしました。
皆様のご協力に感謝申し上げます。

及川さんへ
ホームページの掲載をお願いいたします。

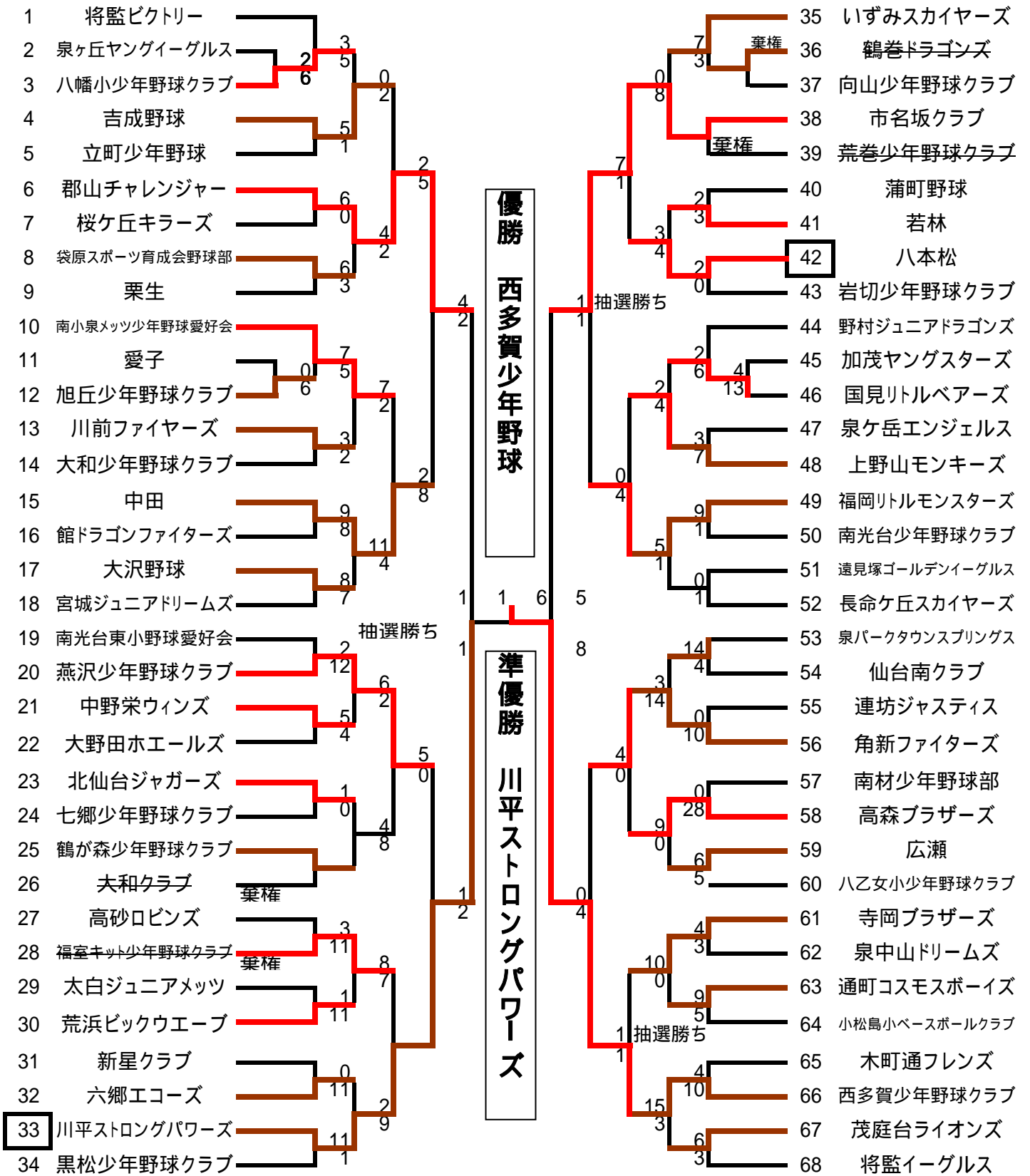
平成23年度 仙台市スポーツ少年団 秋季・新人野球交流大会 大会要項

- 1:趣 旨 仙台市スポーツ少年団(野球)が一堂に会し、日頃の活動の成果を示し、
団員相互の交流を計るとともに技能の向上を目指すこと。
- 2:主 催 仙台市スポーツ少年団
- 3:主 管 仙台市スポーツ少年団野球部会
- 4:後 援 仙台市教育委員会
宮城県野球連盟審判部仙台泉支部
楽天球団
- 5:協 賛 (株)NIKKAMEMORYアート アクティースポーツ 朝日新聞スポーツボイス
- 6:試合期日 秋季大会:平成23年8月20日(土)・9月3日(土)・4日(日)・10日(土)・17(土)
新人大会:平成23年9月11日(日)・19日(日)・24日(土)・9月25日(日)・10月1日(土)
(ただし学校行事などのための調整日に土曜日を使用いたしますので了承ください。)
- 7:会場・時間 開会式は行わず試合に入ります
- ただし、優勝旗、準優勝杯の返還は当日の会場で試合前に行います。
- 8:参加資格 (1)平成23年度仙台市スポーツ少年団本部に登録した指導者及び団員で、
選手は野球部会の定めた用紙に登録した団員とする。
(2)指導者及び選手はスポーツ安全協会傷害保険に加入している事。
(3)リトルリーグに登録している者は参加を認めません。
(4)新人戦については、本部登録をされていなくても出場を認める。
- 9:その他 (1)大会要項及び大会規則による。
(2)雨天等で開催が危ぶまれるような場合は、試合会場担当責任者(部会役員)に
各団の連絡責任者より確認の電話をお願いします。(第2日目以降の試合グラウンド等も)
(3)試合会場集合時間は試合該当団及び審判担当者とも試合開始予定時刻
30分前に致します。(但し、第1日目の第1試合を除く)
(4)ボールボーイは試合該当団より各1名をお願い致します。
(5)試合終了後のグラウンド整備は試合終了該当団2団で行って下さい。
(6)事故等が発生した場合は、速やかに試合会場責任者(部会役員)に報告
して下さい。
(7)ゴミ・たばこの吸殻等は各団でお持ち帰り下さい。
(8)その他ご不明等がある場合には部会事務局長(吉田尚)まで、電話にて
お問い合わせ確認して下さい。(携帯090-2844-3804)

平成23年度仙台市スポーツ少年団第22回秋季野球交流大会結果



平成23年度仙台市スポーツ少年団第22回新人野球交流大会結果



仙台市スポーツ少年団 野球交流大会規則

1. チーム編成は選手20名までとし、責任者(団代表1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名)5名を含め25名までで構成する。(1試合毎に選手変更可)
 2. 編成選手は野球部会所定の団員登録用紙に登録した団員以外は認めない。
 3. 試合は5回戦とし、3回以降10点差の場合コールドゲームとする。(但し、秋季交流大会準決勝戦及び決勝戦は7回戦とし、5回以降10点差の場合コールドゲームとする。)
- 5回終了後同点の場合は、決勝戦を除き終了時のメンバーにて抽選で勝敗を決める。
(但し、秋季交流大会準決勝・決勝戦の7回終了後同点の場合も同様の抽選とする。)
4. 第3項の規則にかかわらず試合時間が70分を超えた場合は、その回を以って終了し新しいイニングに入らずコールドゲームとする。(但し、7回の場合は90分で同様とする。)
 5. 試合開始時刻30分前には、必ず試合会場に到着し、本部で先発メンバー表の提出(2部)をして先攻、後攻を決め試合に備えて待機する。(但し、開会式実施第1試合該当団は、例外とする。)
 6. 試合開始予定時刻になっても試合会場にこないチームは棄権とみなし、相手チームの勝ちとする。
 7. ユニホームは監督・コーチ・選手全員が同柄を着用する。(ベルト・靴を除く)ユニホームとは帽子、アンダーシャツ、ストッキング、ソックスである。なお、スパイクの金属製は禁止する。
 8. ベンチには入れる者は団代表者・野球部会連絡責任者(正・副のうち1名)監督・コーチ・スコアラー及び編成選手とする。(但し、試合の指揮は監督・コーチに限る)
 9. 背番号(選手は0～27の通し番号 主将は10 監督は30 コーチは28・29)は必ずつける。(但し、新人交流大会においては背番号の番号例外を認める)
 10. グランドルールについては当該試合会場責任者と当該審判員との事前協議した決定内容に従うこと。
 11. ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
 12. 小雨の場合でもグラウンドが使用可能な場合は試合を行う。(試合を運営するか否かは当該試合会場責任者が当該試合会場担当団と協議し決定する)
 13. 審判の判定を確認もしくは質問できるのは当該選手及び監督とする。
 14. 投手の投球練習は初回と交代時は8球、2回以降は4球とする。(但し、1分以内とする)
 15. 試合進行を円滑にするため次の項目を厳守すること。
 - (1) 選手交代は投手も含め駆け足で行う。
 - (2) 打者はバッターボックスに速やかに入り打撃姿勢をとる。
 - (3) 次打者はウエティングサークルで低い姿勢で待機する。
 16. 投手が捕手のサインを見る時は、必ずピチャープレート踏み、どちらか一方の腕を側体につけ見ること。
 17. 足を高く上げてのスライディングは危険防止のため禁止する。
 18. 野手の空タッチは禁止する。
 19. 隠し球は禁止する(ピチャープレート付近でボールを持たず、投手がサインを見るような動作をした場合の隠し球は、バークとし走者を進塁させる)
 20. 用具について
 - (1) 試合球はC球とする。
 - (2) バットは公認(JISマーク)を使用すること。
 - (3) 打者・次打者・ランナー・ランナーコーチは、両耳つきヘルメットを必ず着用する。
 21. 開会式はやむを得ない場合(学校行事など)を除き選手全員参加すること。
 22. 新人交流大会の開会式は、秋季交流大会の開会式と一緒に進行。(大会要綱)
 23. 規則を厳守しなかった場合は当該試合または当該大会から除外することもある。
 24. その他(大会要項等)については、各交流大会の抽選会で協議決定する。
 25. バークの判定は、春季・秋季交流大会は規則どおり1回目より判定する。但し、新人交流大会に関しては1投手1回のみ注意し、2回目以降は判定する。

大会審判の取り組みについて

各種大会の審判については、毎年大会終了後各チーム関係者より、ジャッジに対するクレームが多く審判の技術向上が叫ばれております。昨年より、仙台市野球協会のゴールド及びシルバーの審判員に出来るだけ審判をお願いしております。

また、今まで控え審判としてお願いをしていた全軟連泉支部も少年野球の審判について出来るだけ、スポ少独自で審判を行って欲しいとの要望もありました。スポ少の審判費支出の面でも多額の金額を支払うこととなっております。

平成22年度より、仙台市スポーツ少年団の各種大会の審判については、次のとおりと致しますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 公認審判のグラウンドへの配置を行わず。仙台市野球協会のゴールド及び準ゴールドの審判を配置することと致します。配置された審判には食事代として1,000円を支給する。
2. 大会の審判は、各チームの皆さんに従来どおり試合終了後の試合の審判を行ってまいります。勝者が主審と2塁、敗者が1・3塁の審判を行ってまいります。但し、グラウンド担当団は1~3塁の塁審をお願いします。主審は第一試合のみゴールド及び準ゴールドの審判が行います。
3. 審判は、審判技術の向上と正確なジャッジを行っていただくことを目差し各チームの仙台市野球協会のゴールド、準ゴールド、シルバーの審判員にて対応願います。
4. 審判の講習会は従来どおり年2回行いますが、仙台市野球協会の審判講習会においても、審判徽章(全軟連の審判徽章)を受領できるようタイアップしていきます。
5. 試合中にジャッジなどで問題があった場合は、主審、塁審の4名で協議し判定しますが、控え審判のアドバイスを受けて協議し判定を行うことも出来ます。
6. 審判の服装は、白のワイシャツかポロシャツ審判徽章は、仙台市スポ少の大会のみ、全軟連の審判徽章、ゴールドの徽章、シルバーの徽章で行っても良いこととします。但し、県スポーツ少年団野球協議会のジャンボ大会などは全軟連の審判徽章のみとなりますので注意下さい。